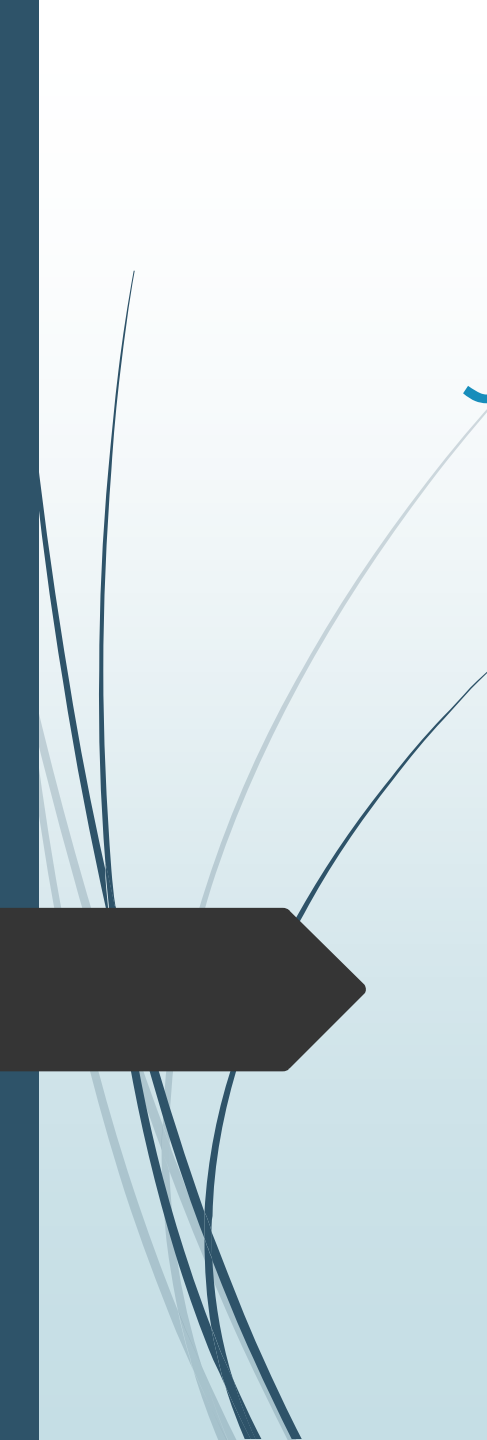




JaSST'16 Tokyo

E5) テストマネジメント

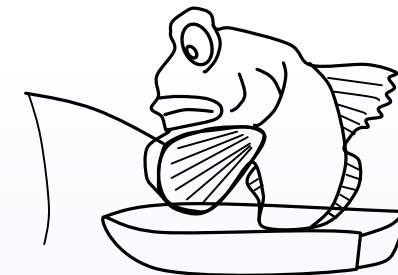
パネルディスカッション

現役テストマネージャに聞け！！

長谷川 聡 (JSTQB技術委員会)

# ポジショントーク

名前: 長谷川 聡



所属: 北都システム株式会社 新横浜オフィス

テストの経験: 17年(うち8年がテストマネージャとして活動)

- ・ 組込み系システムのテスト
- ・ エンブラ系システムのテスト
- ・ プロジェクトの品質保証活動 など

テストとの関わり(おもに社外活動):

- ・ NPO法人 ASTER(ソフトウェアテスト技術振興協会)理事
- ・ JSTQB 技術委員/運営委員
- ・ JaSST Tokyo 実行委員
- ・ テスト設計コンテスト'16 東京予選審査委員 など



# 今日のポジション

1. JSTQBでは
  - ・ Advanced Level Test Managerの  
シラバス作成、試験問題作成のリードとして
2. 通常のお仕事では
  - ・ 流しのテストマネージャとして

※流しのテストマネージャ：

テストマネージャという役割で、1人でお客さん先に行ってテストマネージャ業を行うことをここでは「流しのテストマネージャ」と言っています。

# モデレータからの宿題 ～プロジェクトを始める時に最初にやるコト～

## 1. JSTQBのスタンスでは

- ・テスト計画を立てる準備  
→テストポリシー、テスト戦略を確認し、  
マスターテスト計画を立てる。

テストポリシー：

組織のテストに関する目的と目標を記述する。

テスト戦略：

プロジェクトに依存しない組織の一般的なテスト方法を記述する。

# モデレータからの宿題

## ～プロジェクトを始める時に最初にやるコト～

### 2. 流しのテストマネージャでは

- ・自分達の実力とコネクションを知る！！

→

- ・チームメンバにどんな人がいるのか(キャラクタ)
- ・チームメンバはどんなことができるのか(スキル)
- ・PJ内にどんな知り合いがいるのか(パイプ)



質問1：テスト計画立ててますか？

**ちゃんと立ててます。**

ただ、当初立てた計画通り行くことはほとんどありません！！

(特にスクラッチ開発の場合です。)

|                                                 |   |                                       |
|-------------------------------------------------|---|---------------------------------------|
| テストするアイテムおよびテストしないアイテム                          | ○ |                                       |
| テストする品質特性およびテストしない品質特性                          | ○ | テストレベル/テストフェースとのマッピング                 |
| テストスケジュールおよび予算                                  | ▲ | 予算は記載なし                               |
| テスト実行サイクルおよびソフトウェアリリース計画との関連                    | ○ |                                       |
| テストを行う人々や部署と他の人々や部署との関連性と提出書類                   | ○ |                                       |
| 記述している各レベルで、どのテストアイテムが範囲内でどれが範囲外かを示す定義          | ○ | テストレベル/テストフェースとのマッピング                 |
| それぞれのテストレベルに対する個別の開始基準、継続基準、終了基準、およびテストレベル間の関連性 | ▲ | 継続基準はなし                               |
| テストプロジェクトリスク                                    | ○ |                                       |
| テスト活動の全体的な管理                                    | ○ | 特に不具合管理フローは超重要、取る/見るメトリクス定義(品質評価方法)含み |
| 各テストレベルを実行する責任の所在                               | ○ |                                       |
| 各テストレベルにおける入力と出力                                | ○ |                                       |

※引用 : *Advanced Level*シラバス日本語版 テストマネージャ Version 2012.J03 (ISTQB)  
2.4 テストドキュメントとその他の成果物

※1 : ISTQBシラバスでは「代表的な内容」と記載があり、これですべてという意味ではありません。

## 先の要素以外に私が重要視して記載している要素

| 私が重要視している要素               | メモ                                         |
|---------------------------|--------------------------------------------|
| テストに関する用語定義               | 特にテストレベル、テストタイプ、テストフェーズは必ず浸透させる必要あり        |
| テストレベル、テストフェーズ、テストタイプの関連図 | これがないとみんな自由に計画しだす。                         |
| 各テストフェーズのカバレッジアイテム        | このテストでは何を基準にカバレッジするのか？                     |
| テスト環境計画                   | どの環境でどのテストを行い、バグFixはどの環境を使うのかなど。また構築計画も必要。 |
| テストデータ計画                  | どのテストではどのデータを使うのか？<br>また、データ準備の責任者を記載      |
| 使用ツール                     | 使用するツールとその目的、適用テストフェーズ                     |

質問1：テスト計画立ててますか？

ちゃんと立ててます。

**ただ、当初立てた計画通り行くことはほとんどありません！！**

**(特にスクラッチ開発の場合です。)**

## うまくいかない計画をなぜ立てるのか？

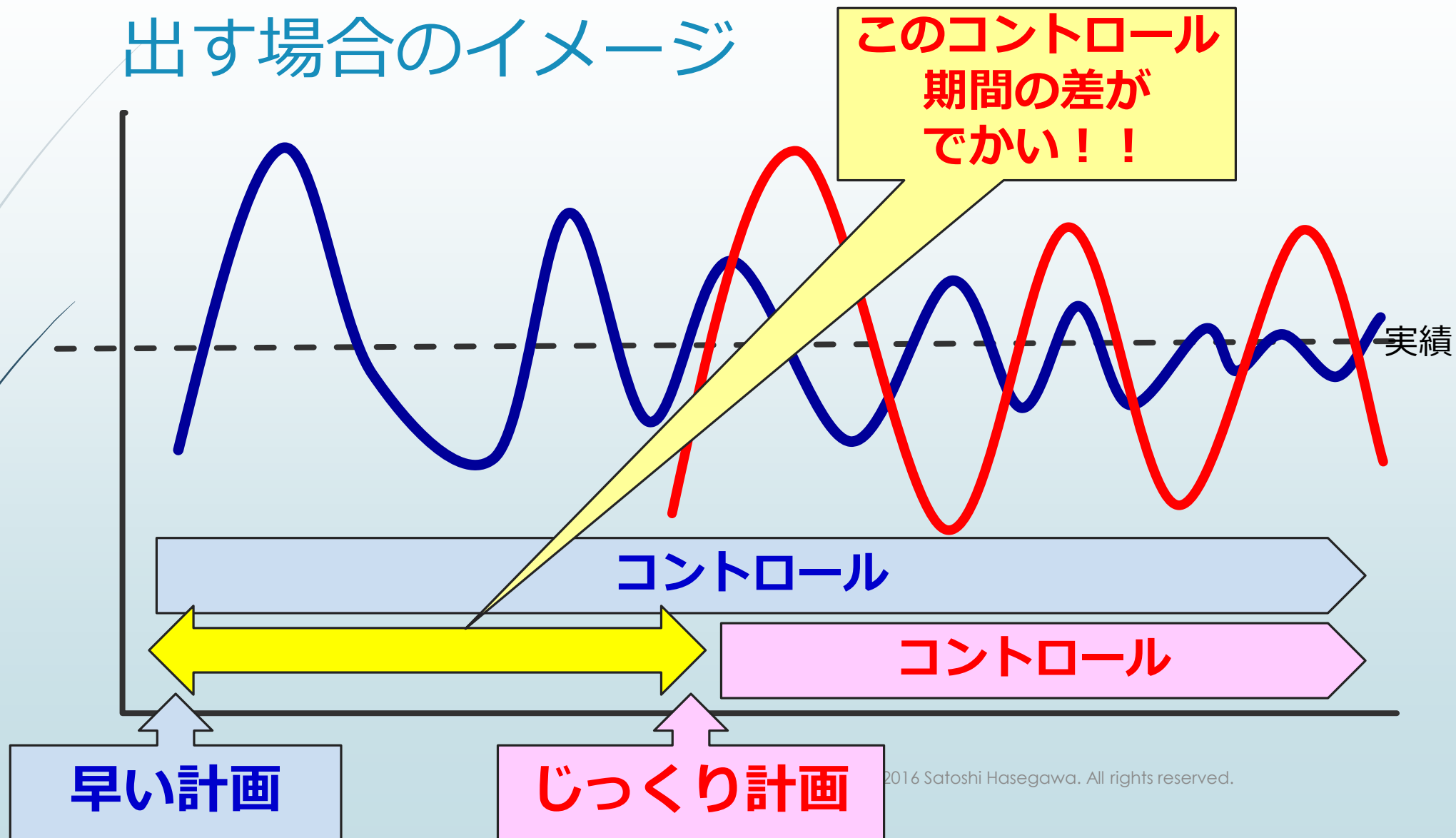
計画がないと、話も、評価もできないためです。

→つまりコントロールが開始できません。

「こうやればうまく行く」ものがあるので、そこから外れたものを吸収し続ければ最終的に見直し計画通りになります。

また、計画を作ってみんながそれを見続けることで常にフィードバックが得られます。

# 計画を早く立てる場合とじっくり寝かせて 出す場合のイメージ



## 私が計画を立てるときにやってることは？

まずいろいろな制約(スケジュール、リソースなど)を見なかったことにして、計画を立てます。

→

出来上がった計画に、制約をかぶせることで、この該当プロジェクトのリスクがあぶりだせます。

これをひとつずつ対処/整理していくことで、初版としての計画が出来上がります。

最初から期間、リソースなどに「はめ」に行くと見えなくなってしまうリスクがたくさんある。



## 質問2：理想のテストマネジメント像とは？

1. JSTQBのスタンスでは

もちろん、

- ISTQB Advanced Level Test Managerに書かれていることが、すべて考えられ、選択できるマネージャです。

ISTQBシラバスをもとに何を知って何を知らないか、たな卸ししてみた。

| ISTQBシラバス目次         |                           | 長谷川 |  |                      |                           |
|---------------------|---------------------------|-----|--|----------------------|---------------------------|
| 1. テストプロセス - 420分   |                           |     |  | 4. 欠陥マネジメント - 150分   |                           |
| 1.1                 | イントロダクション                 |     |  | 4.1                  | イントロダクション                 |
| 1.2                 | テストの計画作業、モニタリング、およびコントロール |     |  | 4.2                  | 欠陥ライフサイクルとソフトウェア開発ライフサイクル |
| 1.3                 | テスト分析                     |     |  | 4.3                  | 欠陥レポート情報                  |
| 1.4                 | テスト設計                     |     |  | 4.4                  | 欠陥レポート情報によるプロセス能力の評価      |
| 1.5                 | テスト実装                     |     |  | 5. テストプロセスの改善 - 135分 |                           |
| 1.6                 | テスト実行                     |     |  | 5.1                  | イントロダクション                 |
| 1.7                 | 終了基準の評価とレポート              |     |  | 5.2                  | テスト改善プロセス                 |
| 1.8                 | テスト終了作業                   |     |  | 5.3                  | テストプロセスの改善                |
| 2. テストマネジメント - 750分 |                           |     |  | 5.4                  | TMMiによるテストプロセスの改善         |
| 2.1                 | イントロダクション                 |     |  | 5.5                  | TPI Nextによるテストプロセスの改善     |

知識として知ってることと、知識を使って目的を達成することは別ですね？

|     |               |   |     |               |  |
|-----|---------------|---|-----|---------------|--|
| 3.1 | イントロダクション     |   | 7.2 | 個人のスキル        |  |
| 3.2 | マネジメントレビューと監査 | ▲ | 7.3 | テストチームの力学     |  |
| 3.3 | レビューのマネジメント   |   | 7.4 | 組織内におけるテストの適合 |  |
| 3.4 | レビューのためのメトリクス |   | 7.5 | モチベーション       |  |
| 3.5 | 公式レビューのマネジメント | ▲ | 7.6 | コミュニケーション     |  |

ISTQBではテストマネージャに求められている要素がちゃんとLO(学習の目的)として提示されている。

## 2. テストマネジメント – 750 分

### 用語

レベルテスト計画、マスターテスト計画、プロダクトリスク、プロジェクトリスク、品質リスク、リスク、リスク分析、リスクアセスメント、リスク識別、リスクレベル、リスクマネジメント、リスク軽減、リスクベースドテスト、テストアプローチ、テスト条件、テストコントロール、テストディレクタ、テストの見積り、テストリーダ、テストレベル、テストマネジメント、テストモニタリング、テスト計画、テストポリシー、テスト戦略、ワイドバンドデルファイ

### 「テストマネジメント」の学習の目的

#### 2.2 状況に応じたテストマネジメント

- TM-2.2.1 (K4) ステークホルダ、状況、およびソフトウェア開発ライフサイクルモデルを含むソフトウェアプロジェクトまたはプログラムのニーズを分析し、最適なテスト活動を識別する。
- TM-2.2.2 (K2) ソフトウェア開発ライフサイクル活動と成果物がテストに与える影響、およびテストがソフトウェア開発ライフサイクル活動と成果物に与える影響を理解する。
- TM-2.2.3 (K2) 経験ベースのテストおよび非機能テストに関するテストマネジメントの問題を管理する方法を説明する。

#### 2.3 リスクベースドテストとその他のテストの優先度付けと工数配分のアプローチ

- TM-2.3.1 (K2) リスクベースドテストでリスクに対応するさまざまな方法を説明する。
- TM-2.3.2 (K2) プロダクトリスク分析のためのさまざまな技法を、例を示して説明する。
- TM-2.3.3 (K4) プロダクト品質リスクを分析、識別、および評価し、主要なプロジェクトステークホルダの観点に基づいて、リスクとその評価されたリスクレベルの概要を説明する。
- TM-2.3.4 (K2) 識別したプロダクト品質リスクを、ライフサイクルとテストプロセス全体を通じて、評価したリスクレベルに応じて、軽減しマネジメントする方法を説明する。
- TM-2.3.5 (K2) テストの選択、テストの優先度付け、および工数の割り当てに関するさまざまなオプションの例を示す。

ISTQBではテストマネージャに求められている要素がちゃんとLO(**学習の目的**)として提示されている。たとえば

| LO       | 説明                                                                                  | シラバス<br>Klevel |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| TM-1.2.1 | (K4) システムのテストニーズを分析して、テスト目的を達成するテスト活動およびテスト成果物を計画する。                                | K4             |
| TM-2.2.1 | (K4) ステークホルダ、状況、およびソフトウェア開発ライフサイクルモデルを含むソフトウェアプロジェクトまたはプログラムのニーズを分析し、最適なテスト活動を識別する。 | K4             |
| TM-3.4.1 | (K3) レビューで使用するプロセスメトリクスとプロダクトメトリクスを定義する。                                            | K3             |

シラバスで勉強するのは、この学習の目的を達成できるテストマネージャになるため。

**ALTMでは 57 のLOがある。**

|          |                                                                                                               |    |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| TM-7.2.1 | (K4) スキルアセスメントスプレッドシートを使用して、ソフトウェアシステムの使用、ドメインおよびビジネスに関する知識、システム開発領域、ソフトウェアテスト、対人関係スキルに関する、チームメンバの強みと弱みを分析する。 | K4 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|

## 質問2：理想のテストマネジメント像とは？

### 2. 流しのテストマネージャでは

**テストマネージャが目立たない  
マネジメント、ができるテスト  
マネージャです。**

## 質問2：理想のテストマネジメント像とは？

- ・ **主役はテスト設計するメンバ、バグを見つけるメンバ**  
→ マネージャはそれをしやすくするだけマネージャの欲しい情報を集めるために現場を動かすなんてもってほのか。
- ・ **プロジェクトメンバ(テストチームメンバでなく)がテストのことをもっと知れるようなマネジメント**  
→ テストチームがパワーを使っていることのひとつにプロジェクト関係者がテストのことをよく知らないということがある。  
→ テストチームだけ見ていては駄目、テスト技術を持ってプロジェクトに貢献できる。

## 質問2：理想のテストマネジメント像とは？

- ・ドメインのエキスパート、組織のエキスパートであるのと同様にテストマネージャのエキスパートであること。

→どのドメイン、どんな組織にいてもテストの  
マネジメント技術を持って最高のテスト実行できるマネージャ  
→**テストマネジメントの技術**をしっかり勉強して身につける。

おわり